

自己肯定感を高める

副校長 今井 洋登

1月は、大寒を過ぎたあたりから体の芯が凍えるほどの厳しい冷え込みが続きました。しかし、子供たちはそんな寒さを吹き飛ばすかのように、長縄に取り組みました。クラスごとに決めた目標を達成できるよう、休み時間や体育の授業などに取り組みました。子供たちは、長縄に入るタイミングや跳んだ後の抜け方などを苦手な子に教えたり、「頑張れ。」「大丈夫だよ。」と励ましたりしながら、クラス一丸となって練習しました。そして、長縄集会では、多くのクラスが今までの記録を上回る回数を跳び、喜びを分かち合っていました。

1月23日には、プロなわとびプレーヤーの生山ヒジキさんを講師に招き、なわとび教室を行いました。全校児童の前で、音楽に合わせて披露していただいた四重跳び、後ろ五重跳びなどのパフォーマンスは圧巻でした。その後3年生は、クラスごとに、交差跳びや二重跳び、縄の止め方などを教えていただきました。生山さんに跳び方のコツを教えてもらったり、技ができたときに褒めてもらったりした子供たちは、とてもうれしそうで、新しい技にも一生懸命取り組むなど、自己肯定感が高まっているようでした。

自己肯定感とは、「自分の在り方を積極的に評価できる感情、自らの価値や存在意義を肯定できる感情」です。自己肯定感が高い子供は、自分に自信をもち、物事に取り組む意欲が高くなります。一方、自己肯定感が低い子供は、自分に自信がもてないため、失敗を恐れて消極的になります。子供たちは、自分ができたこと、努力したこと、頑張ったことなどを認めてほしいと思っています。長縄で「自分が跳べるようになった」「クラスで目標を達成できた」ことを、友達や先生に認められたことで、「頑張ったよかった」「自分はクラスの役に立っている」「もっと頑張りたい」という気持ちが生まれたのだと思います。子供たちの自己肯定感を高めるためには、保護者・地域・教職員が、一人ひとりの子供たちをよく見て、関わり、言葉を掛け、頑張りを認めること、失敗しても励ますことが大切です。とすると、子供の結果や失敗、できていないことばかりに目が向きがちですが、お子様の頑張りができたことに目を向け、具体的に褒めたり、「頑張っているところを見ているよ。」と言葉を掛けたりしてみてください。

※11月、2月の巻頭言は、副校長が担当します。

2月行事予定			授業時数						
			1	2	3	4	5	6	
1	水	B4		4	4	4	4	4	4
2	木	音		5	5	5	6	6	6
3	金	読	避難訓練(5・6年)	5	5	6	6	6	6
4	土								
5	日								
6	月	朝		5	5	5	5	6	6
7	火	読	避難訓練(1~4年)	5	6	6	6	6	6
8	水	B	雅楽鑑賞(6年)	4	5	5	5	5	5
9	木	体	新1年生保護者会	4	5	5	6	6	6
10	金	学	日本漢字検定 (受験者のみ6時間目) 博報堂校外学習(6年)	5	5	5	5	5	5
11	土								
12	日								
13	月	朝T	クラブ活動(4~6年) クラブ見学(3年)	5	5	6	6	6	6
14	火	集	ユニセフ集会 こころの劇場(6年)	5	6	6	6	6	6
15	水	B4		4	4	4	4	4	4
16	木	児	保幼小交流(1年)	5	5	5	6	6	6
17	金	読	キャリア教育出前授業 (5・6年) タグラグビー出前授業(4年)	5	5	6	6	6	6
18	土								
19	日								
20	月	朝T	ユニセフ募金始	5	5	5	5	6	6
21	火	読		5	6	6	6	6	6
22	水	B	ユニセフ募金終	4	5	5	5	5	5
23	木		天皇誕生日						
24	金	※	6年生を送る会 授業参観・保護者会(6年)	5	5	6	6	6	5
25	土								
26	日								
27	月	朝T	おはなしカメさん(1・2年) 委員会活動(5・6年)	5	5	5	5	6	6
28	火	読		5	6	6	6	6	6

※6年生を送る会は、朝会の時間と1時間目に行います。

クラブ活動について

特別活動部

クラブ活動は月に1回、4年生から6年生が活動しています。クラブ活動は、自分たちが興味・関心のあるクラブを選択し、希望アンケートに基づいて決められます。クラブ活動の時間では、学年に関わりなく仲間と協力することの大切さ、同じ目標や目的をもって、仲間たちと何かを作り上げることの楽しさを学んでいます。授業だけでは得られない力を身に付けたり、大きな感動を味わったりしています。それぞれのクラブで、6年生が中心となり、児童同士が交流しながら、意欲的に取り組んでいます。

3年生は、来年度から、いよいよクラブ活動がスタートします。2月13日のクラブ活動では、3年生がクラブ見学を行います。自分の入りたいクラブを決める貴重な機会なので、じっくり考えてほしいと思います。

ぐんぐん伸びたよ 1年生

1年担任

赤坂小学校始まって以来の「プレクラス制」の導入により、4月からの約一か月間は、担任やクラスの友達が変わりました。慣れないうちは戸惑うこともあったと思いますが、子供たちにとっては、どの先生も担任の先生。本クラスが決まった後も、廊下ですれ違うとたくさんの子供たちが声を掛けてくれました。学校生活に慣れるまでは、自分のことをするのも精一杯でしたが、この一年間、様々な行事や人とののかかわりを通して、本当に大きく成長しました。先日行った書き初め会では、心を落ち着けて鉛筆を握り、真剣に手本を書き写す様子が見られました。その様子を見て、ひらがなを一字一字習っていた頃を懐かしく思いました。2月、3月には、近隣の保育園・幼稚園との交流や、来年度の1年生を迎える準備があります。自分たちが“お兄さん”“お姉さん”になって、年下の子供たちと交流する活動を通して、さらに成長してくれることを期待しています。

書き初め会・展について

国語部

「書き初め」とは、新しい年を迎え、初めて文字を書くことをいい、日本では、古くからお正月の行事として親しまれてきました。書き初めには一年の抱負や目標を書いたり、字が上手になることも祈願したりしたようです。さて、赤坂小学校でも、先月、書き初め会が行われました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で、静粛な雰囲気の中、どの子も真剣な眼差しで取り組んでいました。お手本をよく見ながら、丁寧に書き、練習の成果を発揮しました。そして、書き終わりは、達成感でいっぱいの表情でした。

「字は心」まさに、個々の時には、その子の凛とした心ややる気、個性が表れているようでした。また、書き初め展では、多くの保護者の皆様にご覧いただき、ありがとうございました。「力強く、逞しい字ですね。」とのご感想もいただきました。今年も、毛筆のはらいのように、子供たちが伸びやかに逞しく育ちますように願っています。

寒さに負けずに元気に過ごしましょう

生活指導部

寒い毎日が続いています。学校では、長縄の取り組みを行ったり、ボール遊びや鬼ごっこをして外で元気に遊んだりする子供たちの姿も多く見られます。先月は、長縄集会に向けて各学級で声を掛け合い、練習に励む姿がたくさん見られました。

寒い時期はどうしても身体を動かす機会が減り、鈍りがちです。寒くても積極的に遊びや運動を楽しみ、生活習慣を見直して、元気に過ごしましょう。冬の過ごし方について、ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。